

船舶事故等調査報告書

平成23年1月27日

運輸安全委員会（海事専門部会）議決

事故等番号	2010那第68号	
事故等種類	転覆	
発生日時	平成22年10月9日（土） 12時30分ごろ	
発生場所	<p>沖縄県恩納村マリブビーチ北西方沖  <small>まえかねく</small>                      前兼久港北防波堤灯台から真方位242° 1.1海里付近                      （概位 北緯26° 26.4′ 東経127° 46.9′）</p>	
事故等調査の経過	<p>平成22年10月15日、本事故の調査を担当する主管調査官（那覇事務所）を指名した。                      原因関係者から意見聴取を行った。</p>	
事実情報	<p>船種船名、総トン数      <small>エスエムディーシー</small>                      ダイビング船 S M D C、5トン未満（登録長8.89m）                      船舶番号、船舶所有者等      296-21345沖縄、株式会社ハックルベリー沖縄                      乗組員等に関する情報      船長、二級小型船舶操縦士                      死傷者等      なし                      損傷      船外機損失、両舷船側及び左舷船尾破損</p>	
事故等の経過	<p>本船は、船長が1人で乗り組み、マリブビーチ北西方沖のダイビングポイントで錨を巻き上げたのち、北方からの風に圧流されていたところ、高波を右舷船首側から受け、平成22年10月9日12時30分ごろ、左舷側に転覆した。                      本船は、僚船にえい航され、帰港した。</p>	
気象・海象	<p>気象：天気 晴れ、風向 北、風力 4                      海象：水温 28℃、潮汐 下げ潮の末期</p>	
その他の事項	<p>本船でダイビングポイントに運ばれたダイビング客10人及びスタッフ2人は、ダイビングを終えたのち、近くの岸に泳ぎ着いた。</p>	
分析	乗組員等の関与 船体・機関等の関与 気象・海象の関与 判明した事項の解析	<p>あり なし あり 本船は、マリブビーチ北西方沖で錨を巻き上げたのち、風に圧流されて沖合に向いた際、高波に右舷船首が持ち上げられて転覆したものと考えられる。</p>
原因	<p>本事故は、本船が、マリブビーチ北西方沖で錨を巻き上げたのち、風に圧流されて沖合に向いた際、高波に右舷船首を持ち上げられたため、転覆したことにより発生したものと考えられる。</p>	